

1.事業者やまつり系団体、防災系有識者への事前のヒアリングについて

市民広場との一体的利活用の可能性
新本庁舎低層部への民間導入の可能性や整備すべき機能
敷地内広場の規模・設備等に係る要件等
災害時や平常時において必要な機能

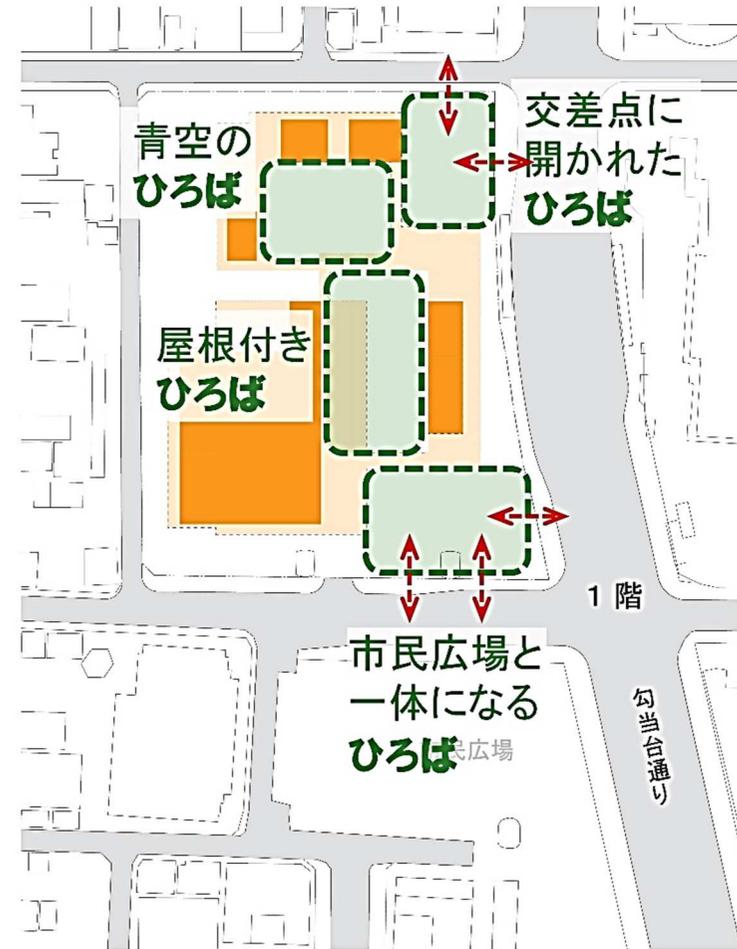
ヒアリング結果

- 配置によっては市民広場と低層部で同時に2つのイベントが実施可能。
- 道路空間（市道表小路線）も使った一体的なイベントが実施可能。
- 公園と道路の境目がない空間が使いやすい。
- 市民広場との差別化・小さいスペースが複数あるとよい。
- 災害時における消防車や自衛隊等の車両の駐車場所は、本庁舎敷地内ではなく、市民広場とした方がよい。

2.低層部の設計図案に係るディスカッションについて

ディスカッション内容

- 一番町からの連続性も大事であり、東側へ顔を向けて開けた空間を作ることも大切。
- 現本庁舎と市民広場、定禅寺通りが途切れているため、新本庁舎から南北のつながりについては重視すべき。
- 南側は市民広場に属しているような空間、北側は緑化してくつろげる広場というような異なる性格を使い分けるような考え方もよいのでは。



4つの性格の異なる広場が連なる空間が特徴の案を基軸に検討を進めていく。